

令和3年度 横浜市岩間市民プラザ 指定管理者業務評価表(自己評価・行政評価)

※実績のチェック欄(数値目標のみ記載)について: 目標に対し+10%超の実績→「A」、目標に対し±10%内の実績→「B」、目標に対し-10%を下回る実績→「C」

評価項目		R3年度計画		実施状況			評価	
I 文化事業目標	指定管理者提案(要旨)	達成指標	目標	実績	特記事項	自己評価	行政評価	
1 市民への文化芸術の観賞、創作活動の機会の提供をします。	①地域の方が身近な施設で、質の高い文化芸術を体験する機会、きっかけをつくります。	●「午前の音楽会」事業 □述べ入場者数/開催回数	540名/6回	579名/6回	前半は、定員50%（いわゆる千鳥の配置）、後半はグループディスタンスの席割での実施。 B	【成果】 ・年度後半、100%の入場が可能な時期に開催した「サイレントシネマ 活弁ワールド」はほぼ満席となりました。今回参加を見送ったお客様からは再演希望のご意見も頂き、「サイレントシネマ」は岩間での事業のなかでも人気シリーズとなったことが実感できました。 ・新型コロナウイルス感染症対応も2年目となり、利用者（イベント観覧者）の方々も、「こういうご時世だからこそ、文化施設が事業を行うべき」と考える方、「感染症があるこのご時世に集客をするべきでない」と考える方、両方がいらっしゃいます。開催する、または中止をする、どちらにしてもご意見・ご要望はいただくこととなり、対応に苦慮することもありましたが、丁寧な説明・ご案内をすることで、一定のご理解をいただけたものと考えます。 【課題】 ・事業の参加者にご高齢の方が多く、ホールの客席に手すりがなく、転倒防止策が取れないことが心配です。自主事業の際、開場時にはできるだけスタッフを場内に配置し、お声がけをしておりますが、万全ではありません。 ・講座も可能な限りの開催を試みておりますが、やはりコロナ禍においては、参加者数の低減が見られます。	【評価できる点】 ・令和3年度、岩間市民プラザは開館30周年の節目を迎えましたが、令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響で事業の中止や実施規模の縮小を余儀なくされるなど逆風が続きました。 ・そのようななか、「午前の音楽会」や「プラザDE体験講座」などは1年を通して実施するなど、感染症の状況を考慮しながら、継続して事業を実施したことを評価します。 ・「シネクラブ特別編・サイレントシネマ」や「岩間寄席」などは目標を上回る入場者を集めました。 ・多くの観客が訪れるイベントの開催時には、入場者を入替制にするなどして昨今の時勢に対応したことを評価します。 ・新型コロナウイルス感染症の影響がありながらも、「ゼロ歳から中高生のための地域劇場」では目標を大きく上回る成果を上げ、また、「学校プログラム」を着実に実行など、次世代育成の取組を進めました。 ・複合施設内に同居するNPO法人保土ヶ谷国際交流の会との共催事業の「異文化理解講座・日本語講座」では、オンラインを活用したり、より広い会場としてギャラリーの展示目的外利用を活用したりするなど、コロナ禍においても工夫を重ねながら事業を進めたことを評価します。 ・同様に、複合施設の特徴を活かして、偕恵いわまワークスと「いわまワークス通所者作品展」を共催するなど、複合施設内の各団体と連携、協力して事業を実施し、文化的コモンズの形成やソーシャルインクルージョンの推進に取組んでいることを評価します。 【更なる取組を期待する点】 ・新型コロナウイルス感染症の影響が続くなか、課題にも挙げられているオンライン講座をはじめとする取組を進めるため、回線設備の充実など、積極的な取組を期待します。 ・継続して開催できている事業の中には、開催回数や入場者数が目標に届かなかった事業がありました。長引くコロナ禍は改善への道筋を見通しにくい状況ですが、引き続き感染症対策等に配慮しつつ、需要を掘り起こしていくことを望みます。 ・次期指定期間は、共同事業体による強みを活かし、WEBやSNSの展開等により岩間市民プラザの発信力を高めるとともに、居住エリア等に考慮した広報宣伝をさらに取組んでいくことを期待します。	
		●「岩間シネクラブ 思い出名画館」事業 □述べ入場者数/開催回数	540名/6回	475名/4回 (各回入替2回上映)	C			
		●「シネクラブ特別編・サイレントシネマ」 □入場者数	90名	141名	A			
		○「邦楽いろはにほ〜」 □述べ入場者数/開催回数	100名/2回	50名/1回	C			
		●「シルクロードの旋律を奏でる」 □述べ入場者数/開催回数	180名/2回	219名/2回	A			
		●「岩間寄席」(アマチュア落語家参加の寄席) □入場者数/開催回数	200名/2回	262名/2回	A			
	②講座やワークショップを開催することで文化芸術への理解・共感を高めていきます。	●「プラザDE体験講座」 カメラ講座(10回) □参加者数	各回6名	38名/11回	C			
		●楽器体験教室(12回) □参加者数	各回6名	4名(固定)	C			
		●「プラザDE体験講座」 「歌助師匠の岩間落語塾」(24回) (岩間寄席関連講座) □参加者数	6名	6名(固定)	B			
		○「プラザDE体験」着付け教室(24回) □参加者数	6名	6名(固定)	B			
③市民プラザでの芸術体験を通じて、地域への愛着につながるような内容、工夫ある事業を実施します。	●横浜市推進するフェスティバル事業: 「DanceDanceDance」への協力 □実施回数	1回	1回	B				
	●横浜市岩間市民プラザ開館30周年アーカイブ展 □開催回数	1回	1回	B				
	●ホールのグランドピアノを弾いてみませんか □参加者数/開催回数	100名/18回	102名/18回	B				
追加	●「ヨコハマとジャズ」 □参加者数/開催回数	90名/1回	95名/1回	B				
2 次世代育成に取り組めます。	①次世代を担う子どもたちが、文化芸術を通じて、豊かな創造性や感受性を育むことができる事業を実施します。	○「ゼロ歳から中高生のための地域劇場」 □述べ参加者数/開催回数	200名/2回	894名/3回	A			
		●シリーズ午前の音楽会(年6回) □述べ入場者数/開催回数	(I-1再掲)	579名/6回	B			
	②子どもたちが、自ら創作する喜びや、表現する楽しさを体験できる事業を実施します。	●子どものための夏休み日本舞踊WS「めざせ☆やまとなでしこ&にっぽんだんじ」 □参加者数	20名/1回	16名/1回	C			
		●子どものための夏休み日本舞踊WS記録写真及び講師映像の展示 □実施回数	1回	1回	—			
	③子ども同士がお互いの個性を尊重し合いながら、交流し、自己表現の大切さ、コミュニケーション力を高められる機会をつくりまします。	●「ぼくのわたしのお絵かきあそび！」(web上での公開) □開催回数	1回	中止	C			
		●「ギャラリー紙芝居口演会」(web上での公開) □開催回数	1回	1回	B			
④横浜市芸術文化教育プラットフォーム等、アウトリーチ事業の活用により、子どもたちが文化芸術を体験する機会を増やします。	●横浜市芸術文化教育プラットフォーム学校プログラム □実施校数	5校	5校	B				

令和3年度 横浜市岩間市民プラザ 指定管理者業務評価表(自己評価・行政評価)

※実績のチェック欄(数値目標のみ記載)について: 目標に対し+10%超の実績→「A」、目標に対し±10%内の実績→「B」、目標に対し-10%を下回る実績→「C」

評価項目		R3年度計画		実施状況		評価		
I 文化事業目標	指定管理者提案(要旨)	達成指標	目標	実績	特記事項	自己評価	行政評価	
3 市民協働、市民主体の活動の支援、地域人材育成をします。	19	①地域で文化活動を担う人材を育成するための事業を実施します。	●WEB制作・映像制作講座(初年度初級・web上での公開) □開催回数	1回	中止	—	【成果】 ・コロナ禍において参加できるライブイベントが減っているため、「岩間ROCK SPACE」の開催は、参加バンドに大変喜んでいただきました。 【課題】 ・イベント開催時、多くの観客が訪れた際に、ホールを入れ替え制にするなどの工夫である程度の観客数を入れることは可能ですが、座席以外の設備(トイレ・エレベーター)が小さいのが課題です。また、リアルタイムの配信などを行うとしても、通信速度の安定性が必須になるため、通信環境づくりが必要になります。	
	20		●「地域理解講座&パネル展」 □述べ参加者数/開催回数	60名/1回	105名/1回(講座と展示は別日)	A		
	21	②市民が主体となって行う文化芸術活動を支援します。	●「岩間ROCK SPACE」音楽愛好家による演奏会 □参加組数	8組	9組(うち2組辞退)	B		
	22		○保土ヶ谷区民文化祭 美術展/写真展 ■地域の方の作品展示機会の提供協力	実施	中止	—		
	23		○保土ヶ谷区民文化祭 茶・華道会いけばな展 ■地域の方の作品展示・文化に触れる機会の提供協力	実施	茶道会は中止 華道会のみ実施	—		
	24		○保土ヶ谷区民文化祭 高齢者作品展 ■地域の方の作品展示機会の提供協力	実施	実施	—		
	25	③市民団体とともに行う事業を通じて、施設と市民との良好な関係を築き、地域コミュニティの中核として認識されることを目指す。	●「東海道保土ヶ谷宿魅力発見シリーズ」 □参加者数	90名	83名	B		
26		○「ゼロ歳から中高生のための地域劇場」 □述べ参加者数/開催回数	(I-2再掲)	894名/3回	A			
4 文化芸術を通じ地域のネットワーク形成へ寄与し、文化的モモンズ形成の牽引をします。	27	①各市民プラザをはじめ近隣の施設(文化・福祉等)や各種文化団体、商店街、自治会等とのネットワーク構築につとめ、関係性を強化します。	○市民グループ「ほどがやえかたり〜ペ」制作紙芝居原画展 □開催回数	1回	1回	B	【成果】 ・感染症拡大防止のため、近隣名刹等でのイベントの実施は断念しました。地元で活躍する団体の原画展では、ギャラリーからの生中継(及び収録再放送)があり、プラザの認知度アップに貢献できました。 【課題】 ・東海道魅力発見シリーズは本来、近隣名刹等で開催しており、ホールでの実施においては、いかにして「東海道の魅力」を発信するかが課題となりました。	
	28	②地域のネットワークの中で継続した情報交換や共同事業、連携事業等を実施します。	●東海道保土ヶ谷区宿魅力発見シリーズ □参加者数	(I-3再掲)	83名	B		
	29	③施設内外でのさまざまなアートプロジェクトと連携・支援するなど地域の文化コーディネーター役を担います。	○借恵あきまつり ■借恵いわまワークス通所者作品展・鑑賞会等のイベントを通じて地域との交流をはかる事業への協力	実施	中止	—		
5 地域コミュニティの形成、社会的包摂(ソーシャルインクルージョン)の推進をします。	30	①文化芸術・社会福祉・国際交流の三分野にわたる複合施設としての特色を活かし、「借恵いわまワークス」「NPO法人保土ヶ谷国際交流の会」の各団体と協力・連携しながら、取り組みます。	○岩間シネクラブでの障がい者就労支援喫茶店「いろえんぴつ」との連携 ■チケット購入者の割引特典設定	実施	実施	—	【成果】 ・国際交流ラウンジの「国際交流フェスタ」は昨年度に引き続き、今年度も集客イベントではなく、展示による開催となったものの、異文化理解講座はオンラインも活用して実施しました。また、より広い場所で日本語教室を開催するため、ギャラリーの目的外利用を活用していただくなど、協力して事業にあたることができました。 ・保育園の関連では、発表会のみならず、卒園式などの利用もありました。感染症拡大防止のため、より広い会場へのニーズが高まったためと考えられます。 【課題】 ・小さいお子さんのご利用が増えた場合、トイレなど設備が十分でないと思われます。	
	31		○いわまワークス通所者作品展 □来場者数	100名	213名	A		
	32		●フェローアートギャラリー □来場者数	200名	中止	—		
	33		○借恵あきまつり ■借恵いわまワークス通所者作品展・鑑賞会等のイベントを通じて地域との交流をはかる事業への協力	(I-4再掲)	中止	—		
	34		●「ギャラリー紙芝居口演」 □開催回数	(I-2再掲)	1回	B		
	35		●「午前の音楽会」事業 □述べ入場者数/開催回数	(I-1再掲)	579名/6回	B		
	36		○近隣保育園発表会 □述べ参加者数/開催回数	300名/2回	273名/5回	B		
	37		●横浜市芸術文化教室プラットフォーム学校プログラム □実施校数	(I-2再掲)	5校	B		
	38		○ほどがや国際交流フェスタ □参加者数	300名	16名	C		
	39		○異文化理解講座・日本語講座 □述べ参加者数	120名/36回	660名/79回	A		
	40		■NPO保土ヶ谷国際交流の会と、事業案内・広報の連携	実施	実施	—		

令和3年度 横浜市岩間市民プラザ 指定管理者業務評価表(自己評価・行政評価)

※実績のチェック欄(数値目標のみ記載)について: 目標に対し+10%超の実績→「A」、目標に対し±10%内の実績→「B」、目標に対し-10%を下回る実績→「C」

評価項目		R3年度計画		実施状況			評価		
I 文化事業目標	指定管理者提案(要旨)	達成指標	目標	実績		特記事項	自己評価	行政評価	
6 情報提供及び広報・プロモーション活動をします。	41	①メディア事業者を中心とする共同事業体の専門性を活かし、情報提供・広報プロモーション力を強化します。	●テレビ神奈川情報番組、スポットCM □掲載回数	月1回(両プラザで)	月1回(両プラザで)	B	【成果】 ・JVの強みを生かし、tvkの番組コーナー内での告知や、フリースポットCMを利用したの事業告知をすることができました。 【課題】 ・地元フリーペーパーとの協力など地域への広報をより効果的に行い、集客率アップを図ることが課題です。		
	42	②2つの市民プラザのホームページのデザイン、トーン&マナーの統一を図り、よりわかりやすく利用しやすい発信をします。	●WEBページのコンテンツの充実 ■よりわかりやすく、読みやすい画面構成作りを努めます。	実施	実施	—			
	43	③WEB(SNS・動画含む)、紙媒体、テレビ、市広報等、クロスメディアによる広報プロモーションを行います。	●クロスメディア広報 ■tvk、神奈川新聞、タウンニュースと連携した広報を展開	随時実施	実施	—			
	44		●プラザ催物案内 □発行回数/配布箇所数	12回/150箇所	12回/110か所程度	C			入館者の制限、手渡しとなる紙の広報物の展示を減らす館も多く、広報先数は大幅に減少した。
	45		■近隣生活者とのコミュニケーションをはかり、地域の文化発信拠点としての位置づけを明確化する。 岩間自治会の広報版・回覧板の利用、広報よこはま保土ヶ谷区版に告知掲載等。	実施	実施	—			
	46		■相模鉄道発行の情報誌等を活用しての沿線利用者への広報アプローチを行う。「相鉄瓦版」「駅からさんぽ」への掲載、相鉄天王町駅PRボックスにチラシを設置	実施	実施	—			「相鉄瓦版」「駅からさんぽ」の掲載はなし。天王町駅PRボックスに配架。
	47		■沿線のフリーペーパー等の告知を通じて、当プラザの認知度アップを図る。	実施	未実施	—			コロナ感染対策のため事業が中止になる可能性を鑑みて、他社のフリーペーパーでの告知・取材依頼を自粛した。
	48	④地域の人材を育成し市全体のプラットフォームを設立	■周辺地域に集う方々の顔や地域の生きた情報を集めて発信するまちづくり情報サイトの機能を市民プラザホームページ内に構築	実施	実施	—			
	49		●プラザDE体験講座 カメラ講座 □参加者数	(I-1再掲)	38名/11回	C			
	50		●映像制作講座(初年度初級) □開催回数	(I-3再掲)	中止	—			
新規		●岩間市民プラザ開館30周年アーカイブ展 □開催回数	(I-1再掲)	1回	B				

令和3年度 横浜市岩間市民プラザ 指定管理者業務評価表(自己評価・行政評価)

※実績のチェック欄(数値目標のみ記載)について: 目標に対し+10%超の実績→「A」、目標に対し±10%内の実績→「B」、目標に対し-10%を下回る実績→「C」

評価項目		R3年度計画		実施状況			評価		
II 施設運営目標	指定管理者提案(要旨)	達成指標	目標	実績		特記事項	自己評価	行政評価	
1 市民の文化芸術活動の発表・創作活動のための施設を提供します。	1	①さまざまなニーズに対応する、公平・公正なサービス提供を行います。	■交替勤務による伝達不足がないように、引継ぎノートを常備	実施	実施	—	【成果】 ・感染症拡大防止の観点から、普段よりも広い場所での練習等を希望されるお客様に、ギャラリーのご利用(2か月を切ったギャラリーの展示目的外利用)を案内し、活用していただくことができました。 【課題】 ・ギャラリーの展示利用での利用増が特に重要な課題です。 ・コロナ禍の影響もあり、まだまだ利用率が低減している状態です。	【評価できる点】 ・ギャラリーの展示目的外利用の案内を積極的に行ったことに代表されるように、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に積極的に取り組み、1年間を通して施設運営に大きな問題が生じなかったことを評価します。 ・施設利用率が下がるなか、ホールでは空き施設を利用して「ホールのグランドピアノを弾いてみませんか」等の事業を実施し、施設の有効活用を図る工夫がみられました。 ・感染症対策として接遇研修を個別に行い、細やかなフォローで研修の効果を高めることができました。 ・イベント時にQRコードを用いた非接触型のアンケート収集を実施するなど、昨今の時勢に合わせて利用者の声を聴く工夫を行っていることを評価します。 【更なる取組を期待する点】 ・施設利用率は、ホールを除いて目標を下回りました。ホールやギャラリーで利用率向上の取組が進められているなか、新型コロナウイルス感染症の影響が1年間続き、やむを得ない面もありますが、さらなる工夫が望まれます。 ・次期指定期間では、吉野町、岩間の両市民プラザ間で情報やノウハウの共有をさらに進め、効率の良い施設運営を図ってください。 ・今後も個人情報取扱やコンプライアンス研修を定期的に実施し、日々の施設運営に活用してください。	
	2		■e-mailによる問合せ等にも迅速に対応、施設見学の希望を随時受付	実施	実施	—			
	3	②利用率が高まる工夫を行います。	■ギャラリー利用推進のため、「U-25割引制度」を導入	実施	利用実績なし	—			ギャラリーU-25割引制度は継続したものの、利用の実績はなし。
	4		■予約システム受付終了後も、公演・展示利用受付	実施	実施	—			
	5		■営業担当者によるPR活動	実施	実施	—			
	6		□目標利用率(%)						
			ホール(日)	87	91	B			
		ギャラリー(日)	54	41	C				
		リハーサル室(コマ)	54	50	B				
		レクチャールーム(コマ)	57	55	B				
		スタジオ(コマA~D平均)	78	67	C				
7	③日頃から安全第一に考えて、運営業務を遂行できるよう、防災訓練でスタッフの危機管理意識を高めます。	■防災訓練の実施	2回	2回	B				
2 利用者ニーズの把握、サービスの向上に努めます。	8	①来館者・利用者からのご意見・ご要望を受け止め、積極的に取り入れることでサービス向上につなげます。	■要望苦情は全スタッフで共有	実施	実施	—	【成果】 ・3密回避のため、職員・関係者集まっでの一括研修の代わりに、個別に研修を行いました。時間はかかるものの、個人が普段持っている細かい疑問点にこたえることができたことは、収穫でした。 【課題】 ・防災設備に関する講習会は、専門家を招いて、実際に機材を動かして行うことになり、ある程度職員を集めての実施となります。事務所が狭いため、この場合の感染症拡大防止の対策をいかにするかが課題で、来年度以降の研修には、さらなる工夫が必要です。		
	9		■緊急度・重要度から優先順位を決め、順次取り組み	実施	実施	—			
	10		■対応後はより良い改善に向け検証を実施	実施	実施	—			
	11		□接遇研修	1回	1回	B		コロナ対策のため、スタッフ集合での研修ではなく、個別研修で実施。	
	12	②対象に応じた情報収集ツールを活用した、来館者・利用者ニーズの把握・分析に基づくサービスの向上につとめます。	■ご意見箱・受付対応・アンケートなどを通じてニーズを把握	実施	実施	—			
13	③地域の情報発信拠点としての顔をつくる取組をします。	■動画を作成して発信 ■受付カウンターにモニターを設置、来館者へのイベント等の発信	実施	実施	—				
3 組織的な施設運営を行います。	14	①適切な運営組織体制と人材の配置(館長1、副館長1、事業担当2、管理担当1、運営補助3、受付パートスタッフ5)	□適所に必要な人材を配置(館長1、副館長1、事業担当2、管理担当1、運営補助3、受付担当5)	実施	実施	—	【成果】 ・朝礼の際に検温を行ったり、ガイドライン変更点の確認を行ったりするなど、感染症拡大防止に努めました。 【課題】 ・継続して感染症対策の徹底に努めます。		
	15	②組織内の情報共有及び主要人材の能力確保を行います。	□朝礼	1回/日	1回/日	B			
	16		□職員会議	1回/月	1回/月	B			
	17		□運営会議	4回/年	4回/年	B			
	18		□企画検討会 随時	随時実施	実施	B			
19		□職員研修	2回/年	2回/年	B				
4 個人情報保護等、本市の重要施策を踏まえた取り組みをします。	20	①個人情報保護・情報公開、人権尊重、環境への配慮、市内中小企業優先発注等の取組を実施します。	■個人情報チェックリストにより、定期的に点検を行い、ヒヤリハット事例の共有、意識を高めるための研修を行う。	実施	実施	—	【成果】 ・イベント時にQRコードを用いたアンケート収集を行うようになり、情報の取り扱いについて、より一層注意を払うよう研修を行いました。 【課題】 ・電気料金の値上げ等が見えてきており、また、換気のため空調を安定させるのが難しい事情もあり、節電についてはさらなる工夫が必要になると考えられます。		
	21		■インターネット上で申込み時の個人情報を安全に取り扱う仕組みを導入する。	実施	実施	—			
	22		■個人情報管理・パスワード管理の徹底	実施	実施	—			
	23		■「横浜市の保有する情報の公開に関する条例」に添っての対応	実施	実施	—			
	24		■人権に配慮した運営・接遇	実施	実施	—			
	25		■文化施設としての快適性を確保しつつ節電	実施	実施	—			
26		■中小企業への優先発注	実施	実施	—				

令和3年度 横浜市岩間市民プラザ 指定管理者業務評価表(自己評価・行政評価)

※実績のチェック欄(数値目標のみ記載)について: 目標に対し+10%超の実績→「A」、目標に対し±10%内の実績→「B」、目標に対し-10%を下回る実績→「C」

評価項目		R3年度計画		実施状況			評価	
Ⅲ維持管理目標	指定管理者提案(要旨)	達成指標	目標	実績		特記事項	自己評価	行政評価
1 施設及び設備の維持保全、及び管理をします。	1	①施設の安全・安心・快適環境維持と長寿命化対応を実施します。	■日常点検時に発見した不具合を適切に補修、安全性を確保	実施	実施	—	【成果】 ・日常的に徹底した消毒清掃作業を行いました。 ・課題となっていた建物への雨水侵入は、今年度に外壁改修工事が行われ、改善されたと思われま す。 【課題】 ・今年度で開館から30年を迎え、設備・備品等の老朽化が目立ってきています。	【評価できる点】 ・災害用備蓄品を備え、防潮板設置訓練などで増水時の対策を行っていることを評価します。 ・日常的な施設点検や清掃を着実に実施し、施設を維持保全できています。 ・前年度に引き続き、適切に感染症防止対策に取り組んでいることを評価します。 【更なる取組を期待する点】 ・防災訓練は複合施設の関係者による会議にとどまらず、新型コロナウイルス感染症の影響も見極めながら、全体訓練を行い、災害に備えてください。 ・施設の不具合については、引き続き市との情報共有を積極的に図り、適切な小破修繕を行うことを期待します。 ・次期指定期間も引き続き、利用者にとって快適で清潔な施設環境の維持に努めるとともに、感染症対策でも利用者が安心感を得られるよう、取組の継続をお願いします。
	2		■消防設備及び法定点検を計画通り実施。不具合は確実に修繕	実施	実施	—		
	3	②保守点検・備品管理、環境維持を実施します。	■公共施設として必要不可欠な安全性と生活感を保ち、設備の機能維持を図るため施設点検のための休館日を設ける。	随時	実施	—		
	4		■一定の期間が必要な修繕等に対応するため、連続する作業可能日を設ける。	随時	実施	—		
	5		■「管理基準」により地球環境に配慮しながら快適な環境を維持	実施	実施	—		
	6		■業務の基準に則り物品管理	実施	実施	—		
	7		■利用実態に即した満足度を向上させる清掃	実施	実施	—		
	8		■年間排出計画を定めて廃棄物の発生抑制	実施	実施	—		
	9		□月1～2回の施設点検・職員研修	月1～2回	月1回以上実施	B		
	10		□エレベーター・カーリフト点検	月1回	月1回	B		
2 小破修繕を着実に実行します。	11	①小破修繕の取組をします。	□巡回点検回数	1回/日	1回/日	B	【成果】 ・職員で対応できる修繕については、内部で作業しました。 【課題】 ・設備・備品なども全体的に老朽化が進んでいま す。	
	12		■優先順位を付け、設置者と協議の上修繕を実施	実施	実施	—		
	13		■更新は長寿命化と経費節減の観点で横浜市と協議	実施	実施	—		
3 事故予防及び緊急時対応を実施します。	14	①事故防止体制・防犯、緊急時の対応・感染症対策等衛生管理の実施を行います。	■消防設備・避難経路の案内図を掲示し来館者へ周知	実施	実施	—	【成果】 ・日常的に、職員も含めて消毒作業を徹底して行 い、感染症拡大防止に努めました。 【課題】 ・今後も継続して感染症拡大防止に取り組めます。	
	15		■施設設備不具合には迅速に対応し故障・停止を未然に防止	実施	実施	—		
	16		■緊急時連絡網の作成、横浜市との連携の徹底	実施	実施	—		
	17		■館内巡回により日常の衛生管理を徹底	実施	実施	—		
4 防災に取り組みます。	18	①日常の取組、危機管理マニュアルを整備、防火・防災に取り組み、災害備蓄等を実施します。	■災害時には「人命尊重」「生命の安全確保」を第一に対応	実施	実施	—	【成果】 感染症拡大防止の観点から、一堂に会しての防災訓練は行えなかったものの、他の区分所有者と災害時の対応について会議を行い、コミュニケーションを取りました。 【課題】 ・施設内にいる職員が少ないときに災害が発生した場合の対応方法など、災害に備えて再度確認が必要な事項があります。	
	19		■危機管理マニュアル整備	実施	実施	—		
	20		■防火・防災管理者、統括防火管理者の選任	実施	実施	—		
	21		■所轄の消防署と相談した、非常時に成果が行かせる訓練を行う。	実施	実施	—		
	22		■非常用品を常備し、いつでも使用できるように管理	実施	実施	—		
	23		□防災訓練実施回数	2回/年	2回/年	B		
24	□台風等による増水対策防潮板設置訓練の実施回数	1回以上/年	1回/年	B				
5 その他の管理	25	①適切な許認可及び届出等を行います。	■許認可及び届出等が必要な場合は、適切に処理する。	実施	実施	—	【成果】 「横浜市文化施設における新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン」の改訂のつど、ホームページや館内掲示、既存のご予約の方への連絡などを行い、迅速に対応できました。 【課題】 ・ホームページ以外でのインターネットを活用した告知の仕方と考えるとともに、ネット環境がないお客様への周知方法を考える必要があります。	
	26	②施設の目的外使用の手続きをします。	■自動販売機等の目的外使用の手続きを実施	実施	実施	—		
	27	③名札を着用します。	■プラザの職員、受付、舞台技術、設備、清掃の各部門に従事する者は名札を着用	実施	実施	—		
	28	④人権を尊重します。	■人権の尊重、人権講習会等に参加	実施	実施	—		
	29	⑤騒音や利用者の迷惑行為に関して、近隣対策を実施します。	■騒音・利用者迷惑行為に関する近隣対策の実施	実施	実施	—		
	30	⑥書類を適正に管理します。	■書類の保存期間を定め、保管・管理	実施	実施	—		
	31	⑦行政機関が制定する基準等を遵守します。	■行政機関が制定する規準等の遵守	実施	実施	—		
	32	⑧法律が制定・改正された場合、横浜市と協議をして対応します。	■法律の制定時・改正時には、横浜市と協議し対応する。	実施	実施	—		

令和3年度 横浜市岩間市民プラザ 指定管理者業務評価表(自己評価・行政評価)

※実績のチェック欄(数値目標のみ記載)について: 目標に対し+10%超の実績→「A」、目標に対し±10%内の実績→「B」、目標に対し-10%を下回る実績→「C」

評価項目		R3年度計画		実施状況			評価		
IV 収支	指定管理者提案(要旨)	達成指標	目標	実績		特記事項	自己評価	行政評価	
1 適切な収支構造および収支バランスを目指します。	1	①適切な収支構造及び収支バランスを目指します。	■民間のノウハウを生かした事業計画の立案と効率的実施	実施	実施	—	【成果】 ・報告書類は適正に作成・報告・保存しました。 【課題】 ・引き続き、適正に処理します。	【評価できる点】 ・新型コロナウイルス感染症の影響で厳しい財政状況のなか、文化活動の継続に向けた努力が図れています。 ・公的助成金を積極的に獲得、活用したことを評価します。 ・入札による電力契約等で、コスト削減に努めています。 【更なる取組を期待する点】 ・新型コロナウイルス感染症の影響等により、令和3年度は収入、支出の両面で厳しい状況が続きました。次期指定期間では引き続き、施設の利用率向上に向けた営業努力を継続して、適切な収支バランスを保つことを期待します。 ・適切な収支構造の維持に向けては、収入面では利用料金収入や自主事業による事業収入の確保がベースとなりますが、助成金や協賛金の獲得に向けた取組も引き続き進めてください。	
	2		■事業収支の精査	実施	実施	—			
2 指定管理料にのみ依存しない収入構造に取り組みます。	3	①指定管理料のみに依存しない収入確保に取り組みます。	■利用率向上による収入確保	実施	実施	—	【成果】 ・電力は入札で調達することができました。 ・子どものための日本舞踊ワークショップ&展示を対象として「Dance Dance Dance @ YOKHOAMA 2021」の補助金が1件、感染防止事業に対して、文化庁「文化施設の感染拡大予防・活動支援環境整備事業」の補助金を1件、合計2件の補助金を獲得することができました。 【課題】 感染症拡大防止もあり、サンプリングなどは行えず、また、営業活動もままなりませんでした。		
	4		□目標利用率(%)	(Ⅱ-1再掲)					
			ホール(日)	87	91	B			
			ギャラリー(日)	54	41	C			
			リハーサル室(コマ)	54	50	B			
		レクチャールーム(コマ)	57	55	B				
		スタジオ(コマA~D平均)	78	67	C				
5	②共同事業体の得意分野を活かした営業・広報強化による増収策やコスト削減等、収支構造を再分析し、短・中期的ビジョンを構築します。	■電力を入札で調達してコスト削減を図る	実施	実施	—	公的な助成金を2件獲得			
6		■営業ノウハウを持つ担当者の配置と協賛金獲得活動の実施	実施	実施	—				
7		■商品サンプリングの実施	実施	未実施	—			コロナ感染症拡大防止の一環として、接触機会を減らすという点からも、現物の受け渡し必須のサンプリングは実施しなかった。	
3 経費削減及び効率的運営努力をします。	8	①コスト削減の徹底を実施します。	■空調や照明を節減し、光熱水費削減	実施	実施	—	【成果】 ・職員によるこまめな節電(照明など)を行うことができました。 【課題】 ・感染症拡大防止の観点から十分な換気が必要となっており、温度の安定のための空調のコントロールが困難で、冷暖房の節約は難しいものがあります。		
	9		■職員全員が削減意識を持ち事務事業費の経費削減	実施	実施	—			

評価項目		R3年度計画		実施状況			評価	
V PDCAサイクルの確実な運用	指定管理者提案(要旨)	達成指標	目標	実績		特記事項	自己評価	行政評価
日報及び月間事業報告書の作成・管理	1	①各種日報・月報を作成します。	各種日報を作成	実施	実施	—	【成果】 ・各種日報は毎日作成し保存しました。 【課題】 ・引き続き、日報類の作成を継続しますが、より管理しやすいものを模索します。	
	2		月報を作成し、モニタリング時に提出	実施	実施	—		
	3		日報・月報の管理保存	実施	実施	—		

評価項目		R3年度計画		実施状況			評価		
VI 留意事項	指定管理者提案(要旨)	達成指標	目標	実績		特記事項	自己評価	行政評価	
	1	①必要な保険に加入します。	保険: 損害保険の加入	実施	実施	—	【成果】 ・感染症拡大防止のため、個別での研修を行いました。 【課題】 ・引き続き、感染症拡大防止対策をしつつ、研修等を実施して法令順守に努めます。		
	2	②日本国法令、条例、関係法令を遵守します。横浜市個人情報の保護に関する条例の保護に関する条例を遵守します。	□横浜市個人情報の保護に関する条例、罰則の適用等に関する研修を年1回以上実施	1回	1回	—			
	3	③横浜市の「情報公開に関する標準規定」に基づき策定した「横浜市市民プラザ情報公開規定」を遵守します。	■横浜市「情報公開に関する標準規定」 「横浜市市民プラザ情報公開規定」遵守	実施	実施	—			
	4	④横浜市及び関係機関との連絡調整会議を開催します。	□横浜市モニタリング	1回/月	原則月1回	B			コロナ感染防止のため、延期、中止があった。
	5		□プラザ館長会議	6回/年	5回/年	C			
	6		□JV会議	4回/年	4回/年	B			

令和3年度 横浜市岩間市民プラザ 指定管理者業務評価表(自己評価・行政評価)

※実績のチェック欄(数値目標のみ記載)について:目標に対し+10%超の実績→「A」、目標に対し±10%内の実績→「B」、目標に対し-10%を下回る実績→「C」

評価項目		R3年度計画		実施状況		評価	
Ⅶ その他	特記(提案事項要旨)	達成指標	目標	実績	特記事項	自己評価	行政評価
1 2つの市民プラザを一体で運営します。	1 ①共同事業実施による市民文化活動の交流拡大 ②教育プラットフォーム学校プログラムコンテンツ拡充、効率化 ③スケールメリットによるファンダレイジング活動、利用促進活動の推進 ④一体管理による安心安全、快適な施設管理と長寿命化への対応	■「岩間ROCK SPACE」、「音楽空間」や器楽等のワークショップを両館で開催 ■tvk番組内コーナーでの事業告知を両プラザ相互に月1回 ■人的資源やノウハウを2館共通で活用し、管理・運営面でも連携	実施	実施	—	【成果】 ・自主事業や研修などのため、相互にスタッフを派遣するなどの協力ができました。 ・広報についても、tvkでの告知は基本的に1か月ごとに行うとともに、状況に応じて柔軟に広報枠を融通しあい、効率よく告知ができました。 【課題】 ・今後の事業や管理での連携をいかに効率よく行うかが課題です。	【評価する点】 ・両市民プラザの連携事業を継続的に実施していることを評価します。 ・共同事業体によるメリットを活かした事業告知を展開できていることを評価します。 【更なる取組を期待する点】 ・両市民プラザで、事業実施の際の人員応援や交流を積極的に図り、各館の施設運営にそう条項化をもたらすことを期待します。 ・次期指定期間では、関内ホールも含めた3館連携事業の推進を一層、図ることを望みます。

評価項目		R3年度計画		実施状況		評価	
総括	特記(提案事項要旨)	達成指標	目標	実績	特記事項	自己評価	行政評価
						<p>・令和3年度も前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めながらの1年となりました。「横浜市文化施設における新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン」をはじめとした各種ガイドラインを確認しながら、利用者と従事者の安全確保を第一に運営・管理しましたが、収支的・利用率的には、目標を達成することは困難でした。</p> <p>・当初予定していた事業は、感染症拡大防止に鑑みて中止としたものあり、回数・会場の変更など規模を縮小したり内容を変えたりして実施したのもあります。</p> <p>・参加者や観覧者に消毒、検温等の協力をお願いしての実施となりましたが、快い協力を得られ、事業の実施を喜んでもらったことが、大変励みとなりました。今後も文化体験の機会提供を継続していきます。</p> <p>・利用率的に目標を達成することは困難な1年でした。長年悩まされた雨水侵入に対しては、外壁工事が行われましたが、その他設備については経年劣化に対する早めの補修・修繕などの対策を引き続き取ることが課題です。</p>	<p>・令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、当初の指定期間を1年間延長して指定管理に当たることとなりました。前年度に引き続き、利用人数の制限等の制約が設けられ、感染症拡大防止の観点から中止となるイベントも出るなど、施設運営と収支の両面にわたり、厳しい状況が続きました。</p> <p>・そのようななかで、感染症対策をはじめとしたこれまでの施設運営のノウハウを活かし、吉野町市民プラザとも積極的に情報を交換して、安定した施設運営を行ったことを評価します。</p> <p>・事業については、感染症の拡大状況や参加者の傾向を鑑みて一部のイベントを中止するなどの対応を迫られたものの、文化活動の継続に向けて積極的に取組んだことを評価します。</p> <p>・コロナ禍のなかでありながらも、一部の事業では目標を大きく上回る入場者数や開催回数を達成し、成果を上げました。</p> <p>・その一方で、施設運営では感染症の影響を大きく受け、ギャラリーやスタジオの利用率は目標を大きく下回りました。次期指定期間では、これまでと同様に新型コロナウイルス感染症対策等も考慮しつつ、利用率向上のための取組が求められます。</p> <p>・厳しい財政状況のなか、公的助成金を獲得し、それによる事業を実施していることを評価します。令和4年度も新型コロナウイルス感染症の影響が見込まれますが、引き続き助成金や協賛金等の獲得に積極的に取組むことを期待します。</p> <p>・次期指定期間では、これまでに続いて適正に施設を維持管理し、修繕対応を検討したり小破修繕を進めたりできるよう、体制の構築を図ってください。</p> <p>・コロナ禍の影響が依然として強く残る地域の文化活動にとって、岩間市民プラザは重要な役割を担い続けています。これまでに培ってきたノウハウを生かし、次期指定期間には、より多くの市民に愛され親しまれる施設となることを望みます。</p>